

浦和駒場体育館（指定管理者：さいたまスポーツ振興まちづくりパートナーズ、評価機関：株式会社ブレインファーム）訪問調査日：令和6年11月19日

スポーツ施設 評価結果一覧表

評価項目		指定管理者 自己評価結果	評価機関 評価結果
I. 総則		A	A
1. 施設の目的に基づいた基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されており、職員が理解しているか。	A	A
2. 施設目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設目的を達成できているか。	A	A
3. 従事者の勤務実績・配置状況	管理職を含む常勤従事者及び非常勤従事者の勤務実績、配置状況は適切か。	A	A
4. 従事者のマナー	利用者が気持ちよく利用できるよう、利用者に対する従事者の接客マナーは適切か。	A	A
5. 施設の設置目的を実現するために必要な人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組がなされているか。	A	A
II. 施設・設備の維持管理		A	A
1.建物(野球場・サッカー場・テニスコート等の屋外競技施設を含む)・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A	B
2.備品の管理	施設の備品が適切に管理されているか。	A	A
3.清掃業務、植栽・樹木等の維持管理業務	利用者が快適に利用できるよう、清掃が行き届いているか。 施設周りの植栽・樹木等が適切に管理され、利用者が快適に過ごせるような良好な景観が保たれているか。	A	B
4.警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	A	A
5.プール施設の衛生管理業務	プール施設の衛生管理業務が適切に実施され、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。		
6.浴室衛生管理業務	公衆浴場に関する法令を遵守し、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。		
7.施設衛生管理業務	施設の衛生管理や感染症対策を適切に行っているか。	A	A
III. 運営業務及びサービスの質の向上		A	A
1.利用実績及び施設の稼働率	評価実施直前の2年間の施設稼働率及び利用実績の推移につき、半期毎(4月から9月、及び10月から3月)の状況を確認する。		
2.利用しやすい受付案内の実施	利用者が利用しやすい受付案内を実施しているか。	A	A
3.適切な利用情報の提供	すべての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な利用情報の提供を行っているか。	A	A
4.サービス水準の確保	個々のサービスについて、対応従事者によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組を行っているか。	A	A
5.従事者間での情報共有化	従事者間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A	A
6.個人情報の保護	個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A	A
7.事故防止対策への取組	事故防止のための体制の構築・取組を行っているか。	A	A
8.事故発生時の対応体制の構築	事故発生時の対応体制が確立されているか。	A	A
9.災害発生時の対応体制の構築	災害発生時の対応体制が確立されているか。	A	A
10.利用者の意見・苦情を抽出し、解決する体制の構築	利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。 利用者の意見や苦情を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A	A
11.利用者アンケートの実施	サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A	A
12.自主事業の適切な実施	利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。	A	A
13.スポーツ教室事業等の適切な実施	利用者のニーズをくみ取り、スポーツ教室事業を実施しているか。	A	A
IV. 地域及び地域住民との連携		A	A
1.地域や地域住民との交流・連携の取組	地域や地域住民との交流・連携に関する取組を実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A	A
V. 収支状況		A	A
1.管理経費(指定管理料)等の執行状況	管理経費(指定管理料)は適正に執行されているか。	A	A
2.収支決算状況	予算と決算に大幅な相違がないか。収入－支出がプラスになっているか。	A	+
3.利用料金収入実績 ⇒該当施設(施設)のみ評価を実施する	事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。	123.5%	123.5%
4.経費節減の取組	経費節減のための努力を行っているか。	実施	実施

項目	指定管理者自己評価	第三者評価機関特記事項
I. 総則	社内ルール等の研修（コンプライアンス・個人情報理解度確認）及びテストを年10回実施した。職員全員へAED操作訓練等を行いライセンス取得した。	各種研修の取組が充実しており、施設の設置目的達成のために必要な人材育成と従事者のスキルアップが図られています。
II. 施設・設備の維持管理	建物・設備の不備 不具合を未然に防ぎ巡回点検時に早期対応した。	広い施設にもかかわらず全般に良好な維持管理ができています。見落としがちな部分の保守点検や清掃の励行をお願いします。
III. 運営業務及びサービスの質の向上	コナミスポーツのチェーンメリットを生かし良質なサービス等の成功事例を展開して情報共有し、サービス向上に努めた。	多彩な自主事業を展開し、アンケート結果等を踏まえて都度内容の改善を図っていく体制が整備されています。
IV. 地域及び地域住民との連携	さいたま市財政局北部市税事務所納税課と連携し、避難場所運営委員会に参加し、11月25日（土）当施設で避難所合同訓練を実施いたしました。地元中学校3校（木崎中学等）と職場体験学習を実施した。	避難所運営委員会への参加や学校の課外活動への協力等、地域との連携・地域貢献が積極的に行われています。
V. 収支状況	指定管理初年度は利用料金収入増により順調に推移した。	サービス水準の向上等による収入増と経費節減による支出減の結果として、収支決算はプラスであり良好な状態と言えます。
VI. その他	社内共通事故例、成功事例等を情報共有し、今後の運営に役立てた。	市とも連携のうえ、プロスポーツ開催と一般市民利用が共存できる運用方法の検討を推奨します。

評価結果についての講評
総じて良好な運営・維持管理ができています。一方で、利用者アンケートで様々な要望が寄せられているとおり、まだまだ改善の余地が残されているものと思料します。市とも連携・協議し、運営面で改善できる部分は優先順位をつけて順次改善することで、今以上に市民サービスの向上、市民利用の促進につながることを期待します。併せて、全国チェーンの強みを活かしてスポーツの多様化等に対応した新規利用者層の拡大を視野に入れた取り組みもお願いします。

指定管理者からの意見
運営については、ご利用者の声に耳を傾けて対応できるものはすぐにスピードをもって対応した。 運営開始から広報活動や、市民への健康情報を提供する等強化した。 維持管理においては、現場での早期対応、または専門業者の応援等でスムーズに対応できた。